



令和5年度
学校関係者評価委員会報告書

世田谷区立山崎小学校
学校関係者評価委員会

委員長	廣田	隆之
委員	富永	順子
委員	神田	愛弓
委員	松原	靖代
委員	新	愛
委員	ペース	志穂

1. 今回の集計結果概要

令和5年11月28日(火)～令和5年12月14日(火) アンケート実施

- ・保護者配布数 WEB アンケートによる回答 回答率 64.5% (231人/358人中)
- ・地域配布数 WEB アンケート・紙面回答 回答率 50.0% (20人/40人中)
- ・児童在籍数 WEB アンケートによる回答 回収率 85.5% (95人/111人中)

以下アンケート結果分析についてA+B評価が70%を超えている項目は概ね良好とした。

2. 保護者各項目の分析について

1. 学習指導について

(1) A+B 評価が93%で昨年度より12ポイント改善して大変良好な結果である。本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業が行われている。(2) A+B 評価が73%で昨年度より16ポイント改善して概ね良好な結果である。本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫した学習指導をしている。(3) A+B 評価が90%で昨年度より9ポイント改善して良好な結果である。本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。(4) A+B 評価が77%で昨年度より16ポイント改善して概ね良好な結果である。本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。

2. 生活指導について

(1) A+B 評価が87%で昨年度より15ポイント改善して良好な結果である。本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。(2) A+B 評価が90%で昨年度より10ポイント改善して良好な結果である。本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。

3. 学校行事（運動会・学芸会・学習発表会・宿泊行事など）について

(1) A+B 評価が97% (2) A+B 評価が96% (3) A+B 評価が94%で、全ての項目で90%を超えており大変良好な結果である。保護者のほとんどが、子どもたちは学校行事が楽しみで、達成感があり、本校は意欲を大切にした指導をしていると感じており大変好ましい結果である。

4. キャリア教育について

(1) A+B 評価が73%で昨年度より6ポイント改善しており概ね良好な結果である。本校の教員は、子どもに目標を持たせ、その実現のために支援している。(2) A+B 評価が57%で昨年度より6ポイント改善しているものの低評価である。本校ではキャリアパスポート等の活用をしているが保護者の理解度は低い。

5. 教職員について

(1) A+B 評価が 92%で昨年度より 10 ポイント改善して良好な結果である。本校教員はていねいに指導している。(2) A+B 評価が 84%で昨年度より 11 ポイント改善して良好な結果である。本校は子どものことを相談しやすい。

6. 全般について

(1) A+B 評価が 93%で良好な結果である。子どもが学校生活を楽しいと感じている保護者が多いのは大変好ましい結果である。(2) A+B 評価が 59%で低評価である。子どもが自主的に家庭で学習する習慣付けには課題がある。(3) A+B 評価が 48%で昨年度より 14 ポイント悪化して低評価である。学び舎の活動に関しては毎年低評価であり小・中学校の更なる連携を要す。(4) A+B 評価が 87%で昨年度より 10 ポイント改善して良好な結果である。保護者は本校の教育活動に満足している。(5) A+B 評価が 82%で昨年度より 5 ポイント改善して良好な結果である。子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。

7. 学校からの情報提供について

(1) A+B 評価が 94%で良好な結果である。本校の「学校だより」「学年だより」等による情報発信は評価が高い。(2) A+B 評価 37%で低評価である。「学び舎通信」など広報活動をしているものの「学び舎」活動の認知度は低い。(3) A+B 評価が 95%で昨年度より 14 ポイント改善して大変良好な結果である。学校公開・保護者会等の効果が現れている。(4) A+B 評価が 91%で昨年度より 11 ポイント改善して良好な結果である。ホームページ・メールによる情報発信は良い評価が得られている。

8. 学校運営について

(1) A+B 評価が 84%で昨年度より 13 ポイント改善して良好な結果である。本校は保護者に重点目標を伝えている。(2) A+B 評価が 93%で昨年度より 7 ポイント改善して良好な結果である。校長のリーダーシップのもと継続した良好な学校運営を望む。

9. 家庭と学校との連携について

(1) A+B 評価が 86%で良好な結果である。本校の保護者は学校公開にすすんで参加している。(2) A+B 評価が 70%で概ね良好な結果である。本校の保護者は、学校行事・PTA・地域主催の行事などにすすんで協力している。(3) A+B 評価が 49%で昨年より 6 ポイント改善しているものの低評価である。前項 8 の (1) で本校は保護者に学校の重点目標を伝えているが、半数の保護者は学校の重点目標を理解していない。学校だより 5 月号に掲載されているので一読していただきたい。

10. 地域との連携について

(1) A+B 評価が 77%で昨年度より 10 ポイント改善して概ね良好な結果である。本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。(2) A+B 評価が 78%で昨年度より 12 ポイント改善して良好な結果である。本校は、地域の活動などに協力的である。(3) A+B 評価が 66%でやや低評価であるが

E 評価が 25%であり、概ね良好な結果である。本校は、地域に情報を提供している。

11. 学校の安全性について

(1) A+B 評価が 84%で昨年度より 5 ポイント改善して良好な結果である。本校は、安全な学校づくりを進めている。(2) A+B 評価が 96%で昨年度より 4 ポイント改善して大変良好な結果である。本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。(3) A+B 評価が 85%で良好な結果である。本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。

12. 基本的な生活習慣・健康な体について（学校独自項目）

(1) ~ (3) は A+B 評価が 77%を超えて概ね良好な結果である。お子さんは、自分からあいさつをし、話している人を見て話を聞いている。また、毎晩決まった時刻に寝る等、睡眠をしっかりとしている。(4) A+B 評価が 62%で食べ物の好き嫌いは低評価である。(5) A+B 評価が 66%で低評価であるが、校内では朝遊び、昼休み等で外遊びをしている。

13. 特色ある教育活動について

(1) A+B 評価が 92%で昨年度より 34 ポイント改善して大変良好な結果である。舟形交流学習は、子どもたちの成長に役立っている。ここ数年コロナ禍でリモートでの交流が続いていたが、今年度は対面での実施でありコロナ禍前と同等な評価となった。(2) A+B 評価が 97%で大変良好な結果である。紙すき体験を、子どもたちは楽しんでいる。(3) A+B 評価が 89%で良好な結果である。山崎太鼓は、子どもたちの成長に役立っている。

14. 言葉に関する環境について

(1) A+B 評価が 67%でやや低評価である。本校では 読書旬間を設定し、読書の習慣が定着している。家庭での読書習慣の定着を望む。(2) A+B 評価が 81%で良好な結果である。子どもたちは、自分の思いや考えを話したり書いたりして伝えている。

3. 地域各項目の分析

1. 生活指導について

(1) A+B 評価が 89%で昨年度より 8 ポイント改善して良好な結果である。本校の生活指導地域から高評価を得ている。引き続き学校・家庭・地域で連携して生活指導を徹底することを望む。

2. 学校行事（運動会・学芸会・学習発表会・宿泊行事など）について

(1) (2) とともに A+B 評価が 90%を超えて大変良好な結果である。行事の内容、地域への配慮、学校への協力等、理解が得られている。

3. 学校からの情報提供について

(1) A+B 評価 96%で大変良好な結果である。学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学

校の様子が分かる。(2) A+B 評価 56%で昨年度より 17 ポイント悪化して低評価である。「学び舎」の活動については情報発信の工夫を望む。(3) A+B 評価が 78%で昨年度より 9 ポイント改善して良好な結果である。学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。(4) A+B 評価が 82%で良好な結果である。学校のホームページには学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。

4. 学校運営について

(1) (2) とともに A+B 評価が 85%を超えて良好な結果である。学校の重点目標は明確であり、地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。

5. 地域との連携について

(1) A+B 評価が 78%で良好な結果である。本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。

(2) A+B 評価が 40%昨年度より 22 ポイント悪化。(3) A+B 評価が 55%昨年度より 14 ポイント悪化。学校協議会・合同学校協議会・学校運営委員会の評価は低い。今後、更なる情報提供・広報活動を要す。

6. 学校の安全性について

(1) A+B 評価が 89%で良好な結果である。学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。(2) A+B 評価が 85%で良好な結果である。学校は、安全性を高めようと地域と協力している。

4. 児童各項目の分析

1. 学習指導について

(1) A+B 評価が 95%で大変良好な結果である。先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。(2) A+B 評価が 80%で良好な結果である。先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。(3) A+B 評価が 100%で大変素晴らしい結果である。授業では、話し合ったり発表し合ったりする機会がある。(4) A+B 評価が 93%で昨年度より 8 ポイント改善して大変良好な結果である。先生は映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。

2. 生活指導について

(1) A+B 評価が 87%で昨年度より 11 ポイント改善して良好な結果である。子どもたちは、学校のきまりを守って行動している。(2) A+B 評価が 85%で良好な結果である。学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。(3) A+B 評価が 88%で良好な結果である。子どもたちは、先生に注意されたことを理解している。

3. 学校行事（運動会・学芸会・学習発表会・宿泊行事など）について

(1) A+B 評価が 94%で良好な結果である。子どもたちは、学校は楽しいと感じている。(2) A+B

評価が90%で良好な結果である。子どもたちにとって、学校行事は達成感ある。(3) A+B 評価が84%で良好な結果である。先生は、児童の意欲を大切にしている。

4. キャリア教育について

(1) A+B 評価が77%で昨年度より7ポイント改善して概ね良好な結果である。自分の生き方や将来のことについて考える授業がある。(2) A+B 評価が82%で昨年度より13ポイント改善して良好な結果である。子どもたちは、目標をもちその実現に向けて努力している。(3) A+B 評価が54%で昨年度より6ポイント改善しているものの低評価である。教員の工夫等により区立中学の更なる情報発信を期待する。

5. 先生について

(1) A+B 評価が94%で良好な結果である。先生たちは、ていねいに指導している。(2) A+B 評価が78%で概ね良好な結果である。子どもたちは、先生たちに相談できている。

6. 全般について

(1) A+B 評価が96% (2) A+B 評価が90%で良好な結果である。子どもたちのほとんどが学校生活は楽しいと感じ、学校が好きと回答しており好ましい結果である。(3) A+B 評価が61%で低評価である。家庭での宿題やe-ラーニングでの学習には課題がある。(4) A+B 評価が73%で児童の7割強が塾に通っている。(5) A+B 評価が37%で昨年度より21ポイント悪化しており低評価である。学び舎中学との交流は減少しており、中学校と連携をはかり交流機会の増加を望む。

5. 総評

今年度のアンケート調査は、保護者・地域・児童とも良好な結果である。保護者アンケート43項目中C+D評価が30%以上は6項目。そのうち2項目は「家庭での学習」・「家庭での読書習慣」で、他は「学び舎についての情報提供」・「学校の重点目標の理解度」・「食べ物の好き嫌い」・「外遊び」の4項目であり、学習指導・生活指導等、教員に対する評価は総じて良好な結果である。また学校行事・情報提供・学校の安全性についても高評価である

地域アンケート14項目中A+B評価が70%未満は「学び舎」「学校協議会」「学校運営委員会」に関する3項目であり、生活指導・学校行事・情報提供・学校の安全性に対する評価は総じて良好な結果である。

児童アンケート20項目中A+B評価70%未満は「区立中学の情報提供」「家庭での学習」「学び舎」に関する3項目であり、学習指導・生活指導・学校行事・教員に対する評価は総じて良好な結果である。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の行動制限がほぼなくなり、以前の学校生活が戻ってきた。4月の学校だよりに、「子どもらしい子ども」これが私の理想です。と、小池校長の言葉がある。今年度は「子どもらしい子ども」の学校生活を送れたのではないかと。

本校は保護者の理解もあり、地域からの信頼も厚い。引き続き校長のリーダーシップのもと、授

業、学校行事等、子どもたちが楽しい学校生活を送り充実した日々が過ごせるよう学校運営をすることを望む。

6. 参考

1. 地域運営学校

世田谷区立全小中学校が指定されている。学校と地域の連携をより一層充実させ、地域と共に子どもを育てる教育を推進し、地域防災や地域行事など、学校・家庭・地域の連携・協働による取組みを一層充実するなど、地域コミュニティの核としての学校づくりをすることを目的としている。

2. 学校運営委員会

地域運営学校では、地域の方や保護者、学識経験者、卒業生からなる学校運営委員会を組織し、地域に根ざした学校づくりをねらいとした学校運営をすることを目的としている。

3. 世田谷杜の学び舎

世田谷 9 年教育の柱のひとつで近隣の世田谷区立小中学校で「学び舎」を構成し、より一体となって地域の教育力と特色を活かして教育活動や学校運営を進めることを目的としている。本校は世田谷中学校・城山小学校・若林小学校で「世田谷杜の学び舎」を構成している。

4. 学校協議会

学校と家庭・地域並びに関係諸機関と連携と協力を一層強化することを目的として、学校協議会を設置し、地域の協力を得ながら児童・生徒の健全育成、地域防災・防犯、教育活動の充実に取り組んでいる。学校長・副校長・主幹教諭・主任教諭・PTA 会長・PTA 役員・主任児童委員・民生委員・児童委員・青少年委員・保護司・町会長・自治会長等で構成されている。

5. 合同学校協議会

学び舎単位の学校協議会

6. キャリア教育

我が国において「キャリア教育」という文言が公的に登場し、その必要性が提唱されたのは、平成 11 年 12 月、中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」においてであった。同審議会は「キャリア教育を小学校段階から発達段階に応じて実施する必要がある」とし、さらに「キャリア教育の実施に当たっては家庭・地域と連携し、体験的な学習を重視するとともに、各学校ごとに目的を設定し、教育課程に位置付けて計画的に行う必要がある」と提言している。

この答申を受け、キャリア教育に関する調査研究が進められ、平成 14 年 11 月には、国立教育政策研究所生徒指導研究センターが「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査

研究報告書)」を報告した。同調査研究報告書は、子どもたちの進路・発達をめぐる環境の変化 について、数々のデータを基に分析し、「職業観・勤労観の育成が不可欠な『時代』を迎えた」とし、さらに、学校段階における職業的（進路）発達課題について解説するとともに、「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）」を示した。

一方、学校における教育活動が、ともすれば「生きること」や「働くこと」と疎遠になったり、十分な取組が行われてこなかったりしたのではないかとの指摘も踏まえ、同年、文部科学省内に「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議」を設置し、平成 16 年 1 月には、その報告書「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために」を発表した。

この間、国は、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、経済財政政策担当大臣の関係 4 閣僚による「若者自立・挑戦戦略会議」が、平成 15 年 6 月に「若者自立・挑戦プラン」を策定し、目指すべき社会として、「若者が自らの可能性を高め、挑戦し、活躍できる夢のある社会」と「生涯にわたり、自立的な能力向上・発揮ができ、やり直しがきく社会」をあげ、政府、地方自治体、教育界、産業界が一体となった取組が必要であるとした。キャリア教育の推進は、その重要な柱として位置付けられた。その後平成 18 年には、内閣官房長官、農林水産大臣、少子化・男女共同参画担当大臣も加え、「若者の自立・挑戦のためのアクションプラン（改訂）」が策定され、キャリア教育のさらなる充実を図ることとした。

（抜粋：小学校 キャリア教育の手引き＜改訂版＞ 平成 23 年 5 月 文部科学省

第 1 章 キャリア教育とは何か （2）キャリア教育の提唱と経緯 より）